

第4回教育委員会定例会議 会議録

- 1 日時 平成30年4月25日(水)
開会 13時30分
閉会 14時25分
- 2 会場 金沢市庁舎 7階 第1委員会室

3 出席委員(6名)

教 育 長	野 口 弘
教 育 委 員	田 邊 俊 治
〃	早 川 芳 子
〃	岡 能 久
〃	河 野 俊 寛
〃	大 島 淳 光

4 欠席委員(1名)

教 育 委 員 丸 山 章 子

事務局	教育次長(兼)学校教育部長	高 村 政 博
	担当部長(兼)教育総務課長	加 藤 弘 行
	教育総務課担当課長(兼)課長補佐	中 西 賢 治
	担当部長(兼)学校職員課長	羽 場 政 彦
	学校職員課担当課長・管理主事(兼)課長補佐	田 村 創
	担当部長(兼)学校指導課長	新 村 裕 二
	学校指導課担当課長(兼)課長補佐	村 田 昌 人
	学校指導課主席指導主事	貞 廣 賢 了
	学校指導課生徒指導支援室長	石 田 浩 二
	市立工業高校副校長	酒 井 信 幸
	市立工業高校事務局長	新 出 光 昭
	生涯学習部長	鳥 倉 俊 雄
	生涯学習課長(兼)家庭教育振興室長	藤 木 由 里
	市民交流施設整備室長(兼)生涯学習課課長補佐	米 岡 良
	中央公民館長	西 川 修 一
	キゴ山ふれあい研修センター所長	直 江 義 弘
	図書館総務課長	村 田 英 彦
	(兼)玉川図書館長	
	(兼)近世史料館長、城北分館長	
	泉野図書館長(兼)平和町児童図書館長	武 田 秀 一
	泉野図書館副館長	徳 田 伸 治
	玉川こども図書館長	明 星 敏 浩
	玉川こども図書館副館長	池 田 光 穂
	金沢海みらい図書館長	石 田 真 紀 子
	教育プラザ総括施設長(兼)地域教育センター所長	松 本 季 之
	研修相談センター所長	熊 谷 有 紀 子

5 案 件

非 議案第 8 号 教育委員会所管の委員会等の委員の委嘱等について (教育総務課他)

非 議案第 9 号 平成 30 年度金沢市教員採用候補者選考試験の実施について(学校職員課)

そ の 他

(1) 金沢市立小・中学校別児童生徒数、学級数及び教員数について

(2) 平成 30 年度全国学力・学習状況調査及び県基礎学力調査の実施状況について

(3) 金沢市立小・中学校図書館の状況について

(4) 次回の定例会議の日程について

6 議事の経過等 以下のとおり

野口教育長の開議あいさつに続いて、本年度の傍聴席数を 7 席と決定した。次に、傍聴希望者 1 名について協議し、傍聴を許可した。次に、議事録署名委員として河野委員を指名した。その後、各委員から今年度に向けてのあいさつがあり、事務局から自己紹介があった。本日の議題について野口教育長が議案第 8 号、議案第 9 号を非公開にするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。

審議に入り、その他(1)(2)(3)について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、5月の定例会議の開催日を次のとおり決定した。最後に議案第 8 号、議案第 9 号について非公開で審議に入り、原案どおり承認し、閉会した。

* 5月の定例会議の日程：平成 30 年 5 月 23 日(水) 13:30～

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

○ 各委員から今年度に向けての抱負、意見

(説明の概要) 今年度最初の会議となるので、各教育委員から今年度に向けての抱負や意見を伺いたい。

田邊委員

新年度がスタートして、これからの 1 年間もまた、さまざまな取り組みが展開されていきますが、それに当たって考えていることを主として 2 点申し上げたいと思います。

一つには、新しい学習指導要領に向けての議論があって、それがいよいよ実施に向かっていく途上にあります。これからの新しい時代を担う子どもたちがどんな学びを展開していくのか、その体制づくりについては市の教育委員会で制度設計してきたところなので、それがうまく定着していくことを後押ししていければと考えています。その一方で、新たな学びに向けた取り組みの先にあることをしっかり見据えて、単に手法の定着だけでなく、それに取り組むことによって何を実現するのかという点について見失うことないように確認しながら取り組みを進めていく必要があると思います。是非、この点を学校とも意思疎通を図りながら取り組めるように考えます。

また、教員の勤務状況に関しても議論が進み、3 年後までに、時間外勤務が月 80 時間を超える教職員をゼロにしようという目標が設定されました。是非、それが実現されるようにとまずは考えますが、勤務時間を見直すことの大きな狙いは、それによって授業を改善していくことにあるので、勤務時間を改善しながら、それによって改善できた時間をどう生かすのか、

学校の先生方としても見失うことのないようにする必要があると思います。これからの新たな時代状況を見据えながら取り組みが展開されていくわけですが、それが一体何のためなのかということ子どもたち、教員、そして支援に当たる教育委員会としても、絶えず確認しながら取り組めるようでありたいと考えています。

併せて、教員の全体構成も、ベテランの先生方の退職が進み、学校を訪問しても若い先生方を以前より多く見かけるようになってきました。教員全体の総合力、各学校の中での総合力が十分損なわれることがないように、継承できるように十分意識しないと、次第に学校組織が回らなくなっていくことも心配になりますので、若い先生方がしっかりと力を継承し発揮できるような学校の体制に目を向けていきたいと考えます。

早川委員

まず三つの分野でこんなふうになってほしい希望をお話しして、三つの分野で具体的に自分がこんな活動ができればいいなという可能性をお話ししたいと思います。

まず、私自身の責任としては、いろいろな言語でのコミュニケーション能力を持った子どもたちを育てるお手伝いをする事だとも思っています。どんな言語であっても、日本語が確立していないと思想が確立しなくて、思想が確立しないと自分のこと、相手のこと、日本のこと、世界のことを鑑みて何か意見を述べたり、対策を立てたりすることができません。ですので、思想の確立をどのようにしていくのか。国語の授業を充実させ、それに伴う音声も一緒に利用してほしい。英語教育は2020年に小学校から必修になります。その体制へ向けてどんなことをしていかなければならないのか。子どもたちが育つことが一番大切なので、学校がどうあれ、先生がどうあれ、「こういう金沢の子どもたちを育てたい」とのビジョンを真剣に考えてあげて、素敵で人間が育ってほしいと思っています。

2つめの分野はマナーズです。manners は複数形では行儀や人間性を意味するのですが、その醸成のお手伝いできればうれしいです。国際プロトコールとして、国旗の扱い方や、握手の仕方、また、どんな質問がふさわしいのかなど。子どもたちは、教科書に出てくる「How old are you?」という質問を外国人にしますが、年齢を聞くことは一番タブーの質問です。そうした基本的なことを自然に身につけてくれる子どもたちを育てたいです。

3つめの分野は言語教育についてです。音声がとても大切です。できれば何年か先には生徒全員がタブレットを持っていて、教科書のマークにアクセスすると音声を取り込めたり、体育の授業の時に自分のフォーム確認をしたりできるといいですね。いろいろな機器がもっと手軽に手に入る時代が来ると思いますので、AIを待つのではなく、子どもたちが使えるものを導入できればいいと思っています。

最後をお願いします。総合訪問はできるだけ行きたいと思っています。また、ALTの先生方と本音で一度お話ししてみたいと思っています。また、テキストブックがたくさん作られているのですが、残念ながら私の手元に届いていません。せっかくいいものを作ったのであれば、少なくとも教育委員が全員持っていて、こういう教科書を使っていると分かっていることがとても大切だと思います。準備が大変だとは思いますが、よろしく願います。

岡委員

前田家の時代から藩政以来400年余り、金沢のまちは文化、工芸で醸成されたとか、素晴らしいまちになっていると思います。私も仕事柄、そういった面で自分の経験を生かして、金沢に住む子どもたちが他のまちの子どもたちよりも伝統文化や工芸になじめるように応援していきたいと常々思っています。また、教育委員を務めてから、学校教育だけではなく、家庭教育、生涯学習、それぞれいろいろなプログラムが作られて、それに

準じて金沢に住む人たちが子どもだけではなく、大人になってもきちんとした社会人として育っていくように、頑張っていけるように応援していきたいと思っています。

河野委員

私は教育委員として2点、頭の中に置きながら今年1年を過ごしたいと思っています。1点目は、自分の専門である特別支援教育の立場から質問を出したり、意見を述べたりしたいと思っています。もう1点は、一市民として、あるときは素朴かもしれませんが、疑問を出したいと思います。この教育委員会は議事録を残していますし、公開もされているので、そういう形で広く公開していただくということも意識しながら、1年を過ごしたいと思っています。

大島委員

私の立場としては2点あります。1点目は保護者としての立場、もう1点目は経営者の立場として、いろいろなご提案、ご意見等を引き続き出したいと思っています。

保護者の立場としては、昨年の総合教育会議のテーマにもなりましたが、コミュニティ・スクールです。これは今年度も拡大されていくという中で、私も保護者、また地域の一員としていろいろな意見を出して、最終的には学校を中心とした地域の活性化を目指していきたいと思っています。

経営者としては、今日的な話題となっている働き方改革についてです。こちらでも経営者としての目線でいろいろな部分から見ていきたいと思っています。先ほどもお話があったとおり、目的がぶれずにやっていくことが非常に重要だと思いますので、教職員の皆さんが本務に専念するためにどういった形を取っていくのがいいのかを考えながら、いろいろな意見を出していきたいと思っています。

野口教育長

私は今年、大きく分けて3点に力を入れていきたいと思っています。1点目は田邊委員と大変よく似ているのですが、働き方改革です。これについてはまさに働き方改革元年であると思っています、長時間勤務を是正しながら、先生方が本務に専念する時間をしっかりと確保して、より良い授業創造、子どもたちへの授業の準備にしっかりと向き合うことができるように、取り組みを進めていきたいと思っています。併せて、せっかく目標を決めたので、前年度に比べて長時間勤務を減らしていくことと、3年後には80時間を超える先生方がゼロになるよう、事務局と力を合わせながら取り組んでいきたいと思っています。

2点目に、今度の新学習指導要領にはたくさんのキーワードがあります。例えば「地域とともにある学校」「社会に開かれた教育課程」です。「社会に開かれた教育課程」にはカリキュラム・マネジメントという言葉も関わってきますし、アクティブ・ラーニングは最近使わなくなりましたが、「対話的、主体的な深い学び」もありますし、その他に道徳の教科化、小学校における英語科、プログラミング教育が関係していると思っています。特に、「社会に開かれた教育課程」を考えていくと、教育課程等についての中身が具体的にこう変わるということが本当に社会に伝わっているのかと最近考えています。具体的にこんなふうに授業が進む、こんなことを学ぶということ、より丁寧に保護者の方々や社会、地域の方々にもお伝えできるように取り組みを進めていきたいと思っています。

3点目は、総合教育会議の充実です。これまでも委員と共に市長と総合教育会議を開催しながら、金沢市の教育の課題についていろいろと議論させていただきましたが、これからは国でも次の教育振興基本計画に向けて議論がなされていくので、そうした議論もしっかりと受け止めて、総合教育会議の内容の充実を図っていきたいと思っています。ややもすると、この会議は学校教育だけになりがちですが、広く生涯学習も意識していかなければならないと思っています。

○ その他（1） 金沢市立小・中学校別児童生徒数、学級数及び教員数について

（説明の概要）議案書 23 ページ。今年度入学式当日（4月9日）現在の児童生徒数、学級数および教員数について学校ごとに一覧で示した。小学校で最も多く児童が在籍しているのは田上小学校で、児童数 885 名、学級数 30 学級、教員数 39 名である。最も少ないのは湯涌小学校で、児童数 23 名、学級数 3 学級、教員数 4 名である。小学校 55 校の総計は児童数 2 万 3,536 名で、昨年度比 188 名増。学級数 907 学級は昨年度と変わらない。教員数は 1,245 名で、プラス 7 名となっている。次に、中学校で最も多く生徒が在籍しているのは西南部中学校で、生徒数 843 名、学級数 25 学級、教員数 41 名である。最も少ないのは芝原中学校で、生徒数 10 名、学級数 2 学級、教員数 7 名となっている。中学校 24 校の総計は生徒数 1 万 1,138 名で、昨年度比マイナス 313 名。学級数は 369 学級で、昨年度比マイナス 16 学級。教員数は 677 名で、昨年度比マイナス 18 名となっている。なお、校長名については、太字が異動者、その中で氏名の前に（*）が付いているのは新任の校長である。

24 ページに、ここ 10 年間の学級数、児童生徒数、教員数の推移を示した。本年度は 4 月 9 日現在だが、それ以外の年度は 5 月 1 日の学級数確定の日となっている。本年度の学級数は、小学校が通常学級 790 学級、特別支援学級 117 学級、合計 907 学級であり、10 年前の平成 20 年と比較して通常学級は 27 学級減、特別支援学級は 5 学級増となっている。中学校は通常学級 323 学級、特別支援学級 46 学級、合計 369 学級で、平成 20 年と比較して通常学級は 18 学級減、特別支援学級は 6 学級増となっている。本年度の児童生徒数は、小学校が 2 万 3,536 名で、10 年前と比較して 1,486 名の減少、中学校が 1 万 1,138 名で、10 年前と比較して 556 名の減少となっている。本年度の教員数は、小学校 1,245 名、中学校 677 名、合計 1,922 名で、10 年前と比較して小学校が 22 名減、中学校が 10 名減となっている。

野口教育長	10 年前に比べると、随分減ったという感じを受けます。
早川委員	児童生徒が減少するのは、引っ越しなどいろいろな理由があるのでしょうか。全部が全部予測できないとは思いますが、例えば何年後にはこんな状態になるという数字は出ているのでしょうか。
羽場学校職員課長	現在分かっているところでは、平成 39 年度の予測ですが、小学校は現在の 2 万 3,536 名から 2 万 1,671 名に 1,865 名減り、中学校は現在の 1 万 1,138 名から 1 万 889 名に 249 名減ると推測されています。
早川委員	大変ですね。なかなか厳しい。

○ その他（2） 平成 30 年度全国学力・学習状況調査及び県基礎学力調査の実施状況について

（説明の概要）議案書 25 ページ。全国学力・学習状況調査は本年度も全数調査として 4 月 17 日（火）に行われた。調査の目的は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることなどである。

調査の対象は従前どおり、小学校 6 年と中学校 3 年となっている。調査の内容は、小学校では国語、算数と 3 年ぶりに理科が行われた。中学校でも同様に国語、数学と理科が行われている。これまで同様、国語と算数、数学にはそれぞれ A 問題と B 問題があり、A は主として「知識」に関する問題、B は主として「活用」に関する問題となっている。理科については、「知識」に関する問題と「活用」に関する問題が一体的に出題されている。併せて、(2) に示したような児童生徒、学校が答える質問紙調査も行われている。市教育委員会では市全体の平均正答率の公表を行い、各学校では内容や方法を工夫し、公表を行う予定である。

26 ページは、県の基礎学力調査の表である。本年度は小学校 4 年生、6 年生、中学校 3 年生の全児童生徒を対象に、4 月 16 日（月）に行われた。調査の目的は、児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力の定着状況および学習・生活状況について把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の改善を図るとともに、教員の指導状況等を把握し、指導改善に役立てるものである。調査の対象は小学校 4 年と 6 年、中学校 3 年である。調査の集計・分析は、各学校対象学年から無作為に 1 学級ずつ抽出して行うこととなっている。調査は、小学校 4 年は国語と算数、小学校 6 年は社会、中学校 3 年は社会と英語が行われた。また、(2) (3) のように、児童生徒、教員が答える質問紙調査も行われた。公表は、全国学力・学習状況調査と同様の方法で行う予定である。なお、この調査において特別な配慮を必要とする児童生徒の状況については、結果の概要と併せて後日報告したい。

早川委員	行われたばかりなので、多分、回収して結果を出している段階だと思います。振り返って教育施策の成果と課題を検証し改善していく流れは、どれぐらいのスパンで行われるのでしょうか。例えば 1 年かけ結果を出し、また次の学力調査へとつなげていくのでしょうか。何かイメージできるようなものはありますか。
新村学校指導課長	毎年の調査結果を受けて、施策の見直しをしています。今であれば金沢型学習スタイル等がその施策になると思っていますので、金沢型学習スタイルが学力向上につながっているのかという検証につなげていきたいと思っています。今年度は理科が入っていますし、次年度は英語も実施されますので、そのあたりも加味して施策の検証につなげていきたいと思っています。
早川委員	では、長いスパンで徐々にいろいろな対策を立てていくということですね。
新村学校指導課長	そうなります。
田邊委員	些細なことかもしれませんが、2 日間にわたって各教科の調査が実施されるのと併せて、質問紙調査を実施するのが定番になっています。例えば月曜日に小学校 6 年生は社会のテスト、中学校 3 年生は社会と英語を受けて、併せて質問紙調査があります。翌日、全国の調査で 6 年生、3 年生は、教科は異なりますけども併せて質問紙調査という時間の運びかと読めるのです。質問紙調査は重複していないかと思うのですが、実情はどうなっているのか、教えていただければと思います。
新村学校指導課長	質問紙調査の項目については、意識して重ならないようにしています。ただ、特に県として再度確認したい項目に絞った形で調査しています。
田邊委員	場合によっては重複しているかもしれないけれども、その重複の結果にも意味を持たせて行われていくということですか。
新村学校指導課長	本県として確認したい、国とも比較してみたいところに特化した形での調査になっていると思います。
河野委員	県の調査は小学校 4 年、6 年、中 3 となっていますが、例えば A 君が 4 年生、6 年生、中 3 のときに受けた場合に、そういう個人のデータは何か使っているのでしょうか。
新村学校指導課長	それも引き継いでいます。4 年生のときのものが 6 年生になるとどれぐ

らい平均が違っていくのかという比較もしていますし、6年生のものが中学校にもつながっている形になっています。

河野委員

そのデータは学校も把握していて、個人の指導に生かされていると考えてよろしいですか。

新村学校指導課長

そのとおりです。

野口教育長

ちなみに、総合訪問に伺う際、前もって頂く資料の中のデータを見ると、4年と6年のときの比較が非常にしやすいと思います。

○ その他 (3) 金沢市立小・中学校図書館の状況について

(説明の概要) 議案書 27 ページ。学校司書については平成 23 年度から配置し、1 (1) にあり、現在 39 名である。全校で複数日の配置体制となっている。(3) 主な成果として、①1 人当たりの図書貸出冊数は平成 29 年度が小学校 82.7 冊、中学校 17.3 冊となっており、小中学校ともに前年度を上回っている。

蔵書冊数は、平成 29 年度末で小学校が約 64 万冊、中学校が約 35 万 1,000 冊となり、国の標準冊数に対して全小中学校で充足率が 100%を超えている。

各学校図書館の蔵書を補う玉川こども図書館による学校団体貸出は、平成 29 年度もほとんどの小中学校が利用しているが、各学校の蔵書整備が進んできていることから利用冊数は落ち着いてきていると捉えている。

学校図書ボランティアの登録者数は、平成 29 年度が小学校 54 校で 1,068 人、中学校 18 校で 154 人となっている。ボランティアの皆さんには学校図書館の整理や飾り付け、読み聞かせ、本の修理などを行っていただいている。引き続き学校図書館司書教諭と学校司書が連携の下、子どもたちの読書活動が推進されるよう、学校図書館総括等の学校訪問を通じて指導・助言を行っていきたいと考えている。

早川委員

いつも同じお願い事をします、河野先生にお聞きすると、いろいろなハンディキャップを持つ子どもたちは、それぞれ違った図書が必要だそうです。どんな頻度で各分野に新しい図書が出るのか存じ上げませんが、世界の絵本や、いろいろな書籍をこの分野で充実させてほしいと思います。

新村学校指導課長

各学校に特別支援学級用の予算もあるので、その予算を使いながら、個に応じたものを買わせていただいています。

野口教育長

貸出冊数も順調に伸びているようですし、学校司書を活用した授業回数も伸びているようです。学校図書館で行った授業についても、小学校は順調に伸びています。これからもこのように各学校の図書館が利用されるよう、お互いに力を合わせて頑張っていければと思います。

以 上

会 議 録 署 名

教 育 長 _____ 署 名

教 育 委 員 _____ 署 名

(河野委員)

[非公開議案の審議結果について]

○ 議案第 8 号 教育委員会所管の委員会等の委員の委嘱等について（教育総務課他）

（１）金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の委嘱等について

金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会設置条例第 3 条の規定により、次のとおり金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会委員を委嘱及び解嘱します。

委員の委嘱及び解嘱

区 分		所属団体・機関及び役職	氏 名
委嘱	教育関係 団体代表	金沢市 P T A 協議会副会長	高木 美佐子
解嘱		金沢市 P T A 協議会会長	紙谷 一成

任期：2018年4月25日から2019年8月22日まで（前任者の残任期間）

理由：所属団体の役員変更に伴う委員の変更

（２）学校運営協議会委員の委嘱及び任命について

金沢市学校運営協議会規則第 8 条の規定に基づき、学校運営協議会を設置する金沢市立小中学校における委員の委嘱及び任命を行うもの。

1 学校運営協議会を設置する学校

金沢市立泉小学校

金沢市立中村町小学校

金沢市立泉野小学校

金沢市立兼六小学校

金沢市立大浦小学校

金沢市立鞍月小学校

金沢市立戸板小学校

金沢市立押野小学校

金沢市立三馬小学校

金沢市立犀川小学校

金沢市立森本小学校

金沢市立安原小学校

金沢市立泉中学校

金沢市立内川小学校及び内川中学校

2 任期

2018年5月1日から2019年4月30日まで

3 委員

別紙のとおり

金沢市学校運営協議会規則第8条の規定に基づき、金沢市立泉小学校学校運営協議会委員を次のとおり委嘱及び任命します。

1 委嘱及び任命する委員

No.	氏名	区分	役職等
1	越田 智弘	地域住民	野町公民館館長
2	木村 文昭	地域住民	弥生公民館館長
3	宮本 哲一	地域住民	泉サポート隊隊長
4	青木 正子	地域住民	泉小学校図書ボランティア
5	山本 悦子	地域住民	弥生児童館館長
6	山本 茂	地域住民	地域学校協働本部地域コーディネーター
7	川北 聖子	学識経験者	泉小学校学校医
8	布村 一雄	学識経験者	泉中学校校長
9	四十万谷淳	保護者	泉小学校育友会会長
10	大畑 友紀	保護者	泉小学校育友会副会長 地域学校協働本部地域コーディネーター
11	石野 秀行	保護者	泉小学校育友会副会長 地域学校協働本部地域コーディネーター
12	寺井 義春	校長	泉小学校長

2 任期

2018年5月1日から2019年4月30日まで

金沢市学校運営協議会規則第8条の規定に基づき、金沢市立中村町小学校学校運営協議会委員を次のとおり委嘱及び任命します。

1 委嘱及び任命する委員

No.	氏名	区分	役職等
1	大川 兼紀	地域住民	中村町校下町会連合会会長
2	石野 洋	地域住民	中村町公民館長
3	森田 輝雄	地域住民	地域学校協働本部地域コーディネーター
4	外松 秀俊	地域住民	中村町校区子ども会連合会育成委員長
5	谷内きみ枝	地域住民	地域学校協働本部地域コーディネーター
6	三好 公一	地域住民	金沢中街頭交通推進隊中村支隊隊員
7	小松 勉	地域住民	中村児童館館長
8	上林 雅彦	学識経験者	元中学校長
9	石野あや子	学識経験者	元小学校長
10	中森 寛典	学識経験者	中村町小学校学校薬剤師
11	布村 一雄	学識経験者	泉中学校長
12	松本 洋史	保護者	中村町小学校育友会会長
13	塩谷 左知	保護者	中村町小学校育友会副会長
14	本間 啓子	校長	中村町小学校長

2 任期

2018年5月1日から2019年4月30日まで

金沢市学校運営協議会規則第8条の規定に基づき、金沢市立泉野小学校学校運営協議会委員を次のとおり委嘱及び任命します。

1 委嘱及び任命する委員

No.	氏名	区分	役職等
1	笠置 研一	地域住民	泉野校下町会連合会会長
2	越野 理恵	地域住民	泉野地区社会福祉推進委員
3	栖原 昭直	地域住民	泉野地区民生委員・児童委員長
4	伊藤 昭一	学識経験者	泉野小学校薬剤師
5	松野 圭太	保護者	泉野小学校育友会会長
6	徳本 愛	保護者	泉野小学校育友会副会長
7	本多 陽子	保護者	泉野小学校育友会副会長
8	中川 隆博	校長	泉野小学校長

2 任期

2018年5月1日から2019年4月30日まで

金沢市学校運営協議会規則第8条の規定に基づき、金沢市立兼六小学校学校運営協議会委員を次のとおり委嘱及び任命します。

1 委嘱及び任命する委員

No.	氏名	区分	役職等
1	井奈 孝史	地域住民	材木地区町会連合会会長
2	外山 郁生	地域住民	味噌蔵地区町会連合会会長
3	安宅 雅夫	地域住民	材木公民館館長
4	野田 大介	地域住民	味噌蔵町公民館館長
5	東 良光	地域住民	金沢中街頭交通推進隊副隊長
6	谷 泰徳	地域住民	味噌蔵社会福祉協議会会長
7	割崎 泰	地域住民	材木地区少年連盟会長
8	社本 秀一	地域住民	味噌蔵地区育成委員会委員長
9	小西 護	学識経験者	金沢文芸館館長
10	兵地千恵子	学識経験者	兼六こども園園長
11	北村 幸子	学識経験者	林鐘園園長
12	大溝 了庸	学識経験者	兼六小学校学校医
13	吉川 滋	学識経験者	兼六中学校校長
14	宇田 直人	保護者	兼六小学校育友会会長
15	小澤 雅人	校長	兼六小学校校長

2 任期

2018年5月1日から2019年4月30日まで

金沢市学校運営協議会規則第8条の規定に基づき、金沢市立大浦小学校学校運営協議会委員を次のとおり委嘱及び任命します。

1 委嘱及び任命する委員

No.	氏名	区分	役職等
1	寺山 禎	地域住民	大浦校下町会連合会会長
2	本嶋千加良	地域住民	大浦公民館館長
3	高桑 真一	地域住民	大浦校下少年連盟委員長
4	城崎 亮	学識経験者	大浦校下青少年健全育成協議会会長
5	太田 治郎	地域住民	大浦校下防犯交通連絡協議会会長
6	舘田 光一	地域住民	金沢東街頭交通推進隊大浦支隊長
7	平 寿彦	地域住民	大浦小学校スクールサポート隊隊長
8	天内 清美	地域住民	大浦小学校スクールサポート隊支隊長
9	大川 信子	学識経験者	みずきこども園園長
10	北川 寿子	学識経験者	キッズスクールオオウラ園長
11	乙田 雅章	学識経験者	大浦小学校学校薬剤師
12	田辺 直樹	保護者	大浦小学校育友会会長
13	山下由希子	保護者	大浦小学校育友会副会長
14	久保 幸恵	校長	大浦小学校長

2 任期

2018年5月1日から2019年4月30日まで

金沢市学校運営協議会規則第8条の規定に基づき、金沢市立鞍月小学校学校運営協議会委員を次のとおり委嘱及び任命します。

1 委嘱及び任命する委員

No.	氏名	区分	役職等
1	田嶋 徳和	地域住民	鞍月公民館館長・子ども見守り隊隊長
2	辻 良一	地域住民	鞍月校下町会連合会副会長
3	藤巻 公三	地域住民	鞍月児童館館長・老人会会長
4	上赤 礼子	地域住民	鞍月校下女性会会長
5	岡田 満	地域住民	鞍月校下青少年健全育成協議会会長
6	堀越 一義	地域住民	鞍月校区子ども会連合会会長
7	野崎外茂次	学識経験者	鞍月小学校学校医
8	吉田 千尋	学識経験者	港中学校長
9	小林 正英	保護者	鞍月小学校育友会会長
10	平本 敦志	保護者	鞍月小学校おやじの会会長
11	中越 尚志	校長	鞍月小学校長

2 任期

2018年5月1日から2019年4月30日まで

金沢市学校運営協議会規則第8条の規定に基づき、金沢市立戸板小学校学校運営協議会委員を次のとおり委嘱及び任命します。

1 委嘱及び任命する委員

No.	氏名	区分	役職等
1	吉田 和夫	地域住民	戸板校下町会連合会会長
2	西本 二郎	地域住民	戸板公民館館長
3	村山 和光	地域住民	戸板児童館館長
4	松田 貢	地域住民	戸板児童クラブ運営委員長
5	生島 滋行	地域住民	戸板地区民生児童委員協議会会長
6	吉本 重幸	地域住民	戸板校区少年連盟育成委員長
7	末友 雅子	地域住民	民生児童委員
8	岩城 紀男	学識経験者	戸板小学校学校医
9	佐竹 康弘	学識経験者	長田中学校長
10	中田 真美	学識経験者	正美保育園園長
11	中西 真一	保護者	戸板小学校育友会会長
12	灰田阿由美	保護者	戸板小学校育友会副会長
13	川口 勝	校長	戸板小学校長

2 任期

2018年5月1日から2019年4月30日まで

金沢市学校運営協議会規則第8条の規定に基づき、金沢市立押野小学校学校運営協議会委員を次のとおり委嘱及び任命します。

1 委嘱及び任命する委員

No.	氏名	区分	役職等
1	柏木 信二	地域住民	押野校下町会連合会会長
2	鷹合 勉	地域住民	押野公民館館長・元中学校校長
3	藤井 真人	地域住民	押野校区少年連盟会長
4	中橋 正美	地域住民	押野地区民生児童委員
5	徳田 光世	地域住民	押野地区民生児童委員
6	松岡 正剛	地域住民	元育友会長
7	辰田知太郎	地域住民	元父親会会長
8	小坂 英子	学識経験者	八日市保育所所長
9	池田 照男	学識経験者	元小学校長
10	長門 佐	学識経験者	押野小学校学校医
11	本田 雄一	保護者	押野小学校育友会会長
12	寄木香菜子	保護者	地域学校協働本部地域コーディネーター
13	的場 茂樹	校長	押野小学校長

2 任期

2018年5月1日から2019年4月30日まで

金沢市学校運営協議会規則第8条の規定に基づき、金沢市立三馬小学校学校運営協議会委員を次のとおり委嘱及び任命します。

1 委嘱及び任命する委員

No.	氏名	区分	役職等
1	若松恵美子	地域住民	三馬校下町会連合会会長
2	岩田 時夫	地域住民	三馬公民館館長・学校関係評価者
3	北島 敏男	地域住民	三馬地区社会福祉協議会会長
4	徳本 和行	地域住民	三馬地区民生委員・児童委員協議会会長
5	谷村兼太郎	地域住民	三馬校区子ども会連合会会長
6	前田 忠篤	地域住民	三馬校下防犯委員会委員長
7	福谷 正信	地域住民	三馬小学校学校評議員
8	金浦 良広	地域住民	三馬小学校学校評議員
9	藤本外茂夫	地域住民	三馬小学校学校関係者評価者
10	中 克之	学識経験者	清泉中学校長
11	前川 道郎	学識経験者	三馬小学校学校医
12	橘 秀太郎	保護者	三馬小学校育友会会長
13	前多 康晴	保護者	三馬小学校育友会副会長
14	山崎 治	校長	三馬小学校長

2 任期

2018年5月1日から2019年4月30日まで

金沢市学校運営協議会規則第8条の規定に基づき、金沢市立犀川小学校学校運営協議会委員を次のとおり委嘱及び任命します。

1 委嘱及び任命する委員

No.	氏名	区分	役職等
1	井口 栄市	地域住民	犀川校下町会連合会会長
2	宮下 清昭	地域住民	犀川公民館館長
3	高村治恵子	地域住民	犀川保育園園長
4	米林 憲英	地域住民	犀川地区青少年健全育成協議会会長
5	荒井 清	地域住民	犀川小学校安全サポート隊
6	野崎 義孝	学識経験者	元中学校校長
7	長谷他家志	学識経験者	犀川小学校学校歯科医師
8	濱坂 昌明	学識経験者	犀生中学校長
9	飯島 良和	保護者	犀川小学校PTA会長
10	田村早央里	保護者	犀川小学校PTA副会長
11	荒牧 秀樹	校長	犀川小学校長

2 任期

2018年5月1日から2019年4月30日まで

金沢市学校運営協議会規則第8条の規定に基づき、金沢市立森本小学校学校運営協議会委員を次のとおり委嘱及び任命します。

1 委嘱及び任命する委員

No.	氏名	区分	役職等
1	早川 弘志	地域住民	森本公民館館長
2	綿村 裕	地域住民	湖南公民館館長
3	室橋 康蔵	地域住民	森本地区環境保存会・大場町町会長
4	斉藤 瑞枝	地域住民	森本地区民生委員
5	中野 照子	地域住民	マーヤクラブ（学童クラブ）代表
6	奥谷千庸子	学識経験者	八田保育所所長
7	松本由美子	学識経験者	双葉保育所所長
8	大野 高史	学識経験者	森本小学校学校医
9	井上 一浩	学識経験者	森本中学校長
10	吉村 安司	保護者	森本小学校育友会会長
11	米澤 哲司	保護者	森本小学校父親の会代表
12	釣本 直行	校長	森本小学校長

2 任期

2018年5月1日から2019年4月30日まで

金沢市学校運営協議会規則第8条の規定に基づき、金沢市立安原小学校学校運営協議会委員を次のとおり委嘱及び任命します。

1 委嘱及び任命する委員

No.	氏名	区分	役職等
1	西川 昇	地域住民	安原地区町会連合会会長
2	寺中 欣一	地域住民	安原地区福寿連合会会長
3	中橋 一成	地域住民	安原地区街頭交通推進隊隊長
4	田村 正明	地域住民	安原公民館館長
5	前多 和也	地域住民	安原児童館館長
6	本谷 悦子	地域住民	安原地区婦人会会長
7	水谷 紘子	地域住民	地域学校協働本部地域コーディネーター
8	金曾 千鶴	地域住民	地域学校協働本部地域コーディネーター
9	丸山 浩己	学識経験者	安原小学校学校医
10	茶谷 信一	学識経験者	元小学校長
11	中島 照雄	学識経験者	緑中学校長
12	山下 一夫	学識経験者	尾山台高等学校長
13	角地 孝洋	保護者	安原小学校育友会会長
14	浅永 剛司	校長	安原小学校長

2 任期

2018年5月1日から2019年4月30日まで

金沢市学校運営協議会規則第8条の規定に基づき、金沢市立泉中学校学校運営協議会委員を次のとおり委嘱及び任命します。

1 委嘱及び任命する委員

No.	氏名	区分	役職等
1	杉岡 利正	地域住民	野町町会連合会会長
2	大橋信喜美	地域住民	弥生町会連合会会長
3	大川 兼紀	地域住民	中村町校下町会連合会会長
4	端保 誠二	地域住民	元学校評議員
5	宮永真智子	地域住民	元学校評議員
6	竹森 孝二	学識経験者	元中学校長
7	高野 道夫	学識経験者	泉中学校学校医
8	寺井 義春	学識経験者	泉小学校長
9	本間 啓子	学識経験者	中村町小学校長
10	東 正博	保護者	泉中学校育友会会長
11	山田 一儀	保護者	泉中学校育友会副会長
12	山 将之	保護者	泉中学校育友会副会長
13	布村 一雄	校長	泉中学校長

2 任期

2018年5月1日から2019年4月30日まで

金沢市学校運営協議会規則第8条の規定に基づき、金沢市立内川小学校及び内川中学校学校運営協議会委員を次のとおり委嘱及び任命します。

1 委嘱及び任命する委員

No.	氏名	区分	役職等
1	山田 勲	地域住民	内川公民館副館長
2	小寺 康丈	地域住民	内川公民館広報部長
3	吉田 勝美	地域住民	内川公民館主事
4	山田 一二	地域住民	内川校下町会連合会事務局長・ 内川小中学校同窓会会長
5	前波 豊	地域住民	内川サンライズスキークラブ理事
6	小山 一郎	地域住民	内川体育協会学校支援部副部長
7	福江 厚啓	学識経験者	北陸学院大学助教
8	青木 大樹	保護者	内川小中学校PTA会長
9	上岡 壮一	保護者	内川小中学校PTA顧問
10	小岩 正敏	保護者	内川少年連盟育成委員長
11	亀井真紗代	保護者	内川小中学校PTA元役員
12	平野 友昭	校長	内川小学校長・内川中学校長

2 任期

2018年5月1日から2019年4月30日まで

(3) 金沢市いじめ防止等対策委員会委員の委嘱について

金沢市いじめ防止等対策委員会条例第3条の規定により、金沢市いじめ防止等対策委員会委員を委嘱します。

1. 委嘱する委員

氏名	区分	役職・所属団体等
なか 中 きよこ 聖子	弁護士	金沢弁護士会
おかだ 岡田 あつお 淳夫	精神科医	金沢市医師会
はらだ 原田 かつみ 克巳	心理や福祉の専門家	石川県臨床心理士会会長
たけやま 武山 まさし 雅志	学識経験者	石川県立看護大学人間科学領域人文科学系群教授
かわかみ 川上 けん 憲 じ 治	学識経験者	金沢市退職校長会

2. 任期

2018年5月1日から2020年4月30日まで（2年間）

3. 理由

任期満了に伴う委員の委嘱

（4）金沢市社会教育委員の委嘱等について

社会教育法第15条第2項及び金沢市社会教育委員設置条例第2条の規定により金沢市社会教育委員を委嘱及び解嘱します。

1 委員の委嘱

氏名	所属機関・団体名等	備考
桑村 佐和子	学識経験者（金沢美術工芸大学教授・教育学）	再任

任期：2018年5月1日から2020年4月30日まで（2年間）

理由：任期満了による委嘱（再任）

2 委員の委嘱及び解嘱

区分	所属機関・団体名	役職	氏名	
委嘱	学校教育	金沢市立中学校長会	会長	岡田 孝司
解嘱				澤村 隆司
委嘱	社会教育	金沢市PTA協議会	会長	中村 大介
解嘱				紙谷 一成

任期：2018年4月25日から2019年11月30日まで（前任者の残任期間）

理由：所属団体の役員改選に伴う委員の交代

（5）金沢市図書館協議会委員の委嘱等について

金沢市図書館条例第10条第2項の規定により、下記のとおり金沢市図書館協議会委員を委嘱及び解嘱します。

委嘱及び解嘱する委員

区分	団体・機関及び役職	氏名
----	-----------	----

委 嘱	学校教育	金沢市学校図書館協議会会長	端 博史
解 嘱			平野 友昭
委 嘱	学校教育	金沢大学附属図書館館長	岩見 雅史
解 嘱			福森 義宏

任期：2018年4月25日から2020年1月31日まで（前任者の残任期間）

理由：所属団体の役員改選に伴う委員の交代

○ 議案第9号 平成30年度金沢市教員採用候補者選考試験の実施について（学校職員課）

審議結果についても非公開

以 上